

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4561106号
(P4561106)

(45) 発行日 平成22年10月13日 (2010.10.13)

(24) 登録日 平成22年8月6日 (2010.8.6)

(51) Int. Cl.	F I
B 4 1 J 3/44 (2006.01)	B 4 1 J 3/44
B 4 1 J 13/00 (2006.01)	B 4 1 J 13/00
B 4 1 J 15/00 (2006.01)	B 4 1 J 15/00
B 6 5 H 15/00 (2006.01)	B 6 5 H 15/00 E

請求項の数 4 (全 22 頁)

(21) 出願番号	特願2004-14918 (P2004-14918)	(73) 特許権者	000002369
(22) 出願日	平成16年1月22日 (2004.1.22)		セイコーエプソン株式会社
(65) 公開番号	特開2004-243766 (P2004-243766A)		東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
(43) 公開日	平成16年9月2日 (2004.9.2)	(74) 代理人	100095728
審査請求日	平成18年10月23日 (2006.10.23)		弁理士 上柳 雅誉
(31) 優先権主張番号	特願2003-16784 (P2003-16784)	(74) 代理人	100107261
(32) 優先日	平成15年1月24日 (2003.1.24)		弁理士 須澤 修
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)	(74) 代理人	100127661
(31) 優先権主張番号	特願2003-16785 (P2003-16785)		弁理士 宮坂 一彦
(32) 優先日	平成15年1月24日 (2003.1.24)	(72) 発明者	佐々木 俊幸
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)		長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内
(31) 優先権主張番号	特願2003-16786 (P2003-16786)	(72) 発明者	藤川 雅史
(32) 優先日	平成15年1月24日 (2003.1.24)		長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)		
前置審査			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 印刷装置及び印刷方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単票紙を搬送する第1搬送路と、
 前記第1搬送路に概略直交するように配置され、単票紙を搬送する第3搬送路と、
 前記第1搬送路と前記第3搬送路が交差する印刷領域に設置され、各々の搬送路から搬送されてきた単票紙に印刷を行う印刷ヘッドと、
 当該印刷ヘッドを搭載し、前記第1搬送路の搬送方向と平行に前記印刷ヘッドを移動させて、前記単票紙を前記第3搬送路の搬送方向に搬送させることで、前記第1搬送路の搬送方向と平行な複数の行を印刷するキャリッジと、
 前記単票紙に予め印刷された磁気インクの情報を読み取る磁気インク文字読み取り装置と、

10

前記単票紙の画像を読み取るスキャナと、を備え、
 前記磁気インク文字読み取り装置及び前記スキャナによる前記単票紙の読み取りの結果に応じて、前記単票紙の搬送を停止させて印刷を行い、
 前記単票紙の前記読み取りの結果に応じて、前記第1搬送路の排出方向へ排出するか、前記第3搬送路の排出方向へ排出するか選択可能であることを特徴とする印刷装置。

【請求項 2】

前記第1搬送路は、略U字形状を有している請求項1の記載の印刷装置。

【請求項 3】

前記第1搬送路に概略直交し、ロール紙を搬送する第2搬送路を備え、前記印刷ヘッド

20

は、前記第 2 搬送路を搬送される前記ロール紙に印刷を行なう請求項 1 乃至 2 のいずれかに記載の印刷装置。

【請求項 4】

第 1 搬送路に沿って単票紙を搬送するステップと、

前記第 1 搬送路上を搬送される前記単票紙に予め印刷された磁気インク文字を読み取るステップと、

前記第 1 搬送路上を搬送される前記単票紙の画像をスキャナで読み取るステップと、

前記磁気インク文字及び前記スキャナによる読み取り結果に応じて、前記単票紙の搬送を停止させ、前記単票紙の第 1 搬送路の搬送方向と平行に前記印刷ヘッドを移動させて印刷を行うステップと、を備え、

10

前記単票紙を搬送するステップは、前記単票紙の前記読み取りの結果に応じて、前記第 1 搬送路の排出方向へ排出するか、前記第 3 搬送路の排出方向へ排出するか選択するステップであることを特徴とする印刷方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、搬送路上にある印刷媒体を搬送する搬送手段と、この印刷媒体に印刷を行う印刷手段を備えた印刷装置であって、特に、印刷ヘッドを移動させるキャリッジを備えている印刷ヘッド移動機構を備えた印刷装置と、その印刷方法に関する。

【背景技術】

20

【0002】

欧米を中心として、小切手を利用した決済システムが広く普及している。様々な支払いや送金は小切手の授受によって行われ、それらの小切手は最終的に銀行へも持ち込まれて、入金や換金がなされる。

【0003】

このため、銀行の各支店の窓口では、短時間に多量の小切手を処理する必要がある。支店の窓口での主な処理作業は、銀行員が小切手自体の確認、日付の確認、署名の照合等を行った後、入金や換金を行う。この場合、入手した小切手に裏書を行い、また必要に応じてレシートを発行する。

【0004】

30

近年、銀行に持ち込まれた小切手を電磁的に読み取ることが試み始められており、将来的には、各支店間、各銀行間等をオンラインで接続して、業務の効率化を図ろうとしている。

【0005】

そのため、現在、各銀行の多くの支店には、小切手に記載された磁気インクの情報を読み取るための磁気インク文字読み取り装置（Magnetic Ink Character Reader: MICR）や、小切手を画像に読み取る画像読み取り装置（スキャナ）を備えた処理設備が備え付けられている。この処理機械は、高速に多量の小切手を処理する大形の設備であり、銀行窓口には配置できない。したがって、通常は、銀行の内部にかなり大きな小切手処理専用のスペースを確保して、そこで小切手処理を行っている。そして、この処理後、各支店ごとに集められた小切手は、輸送車等で搬送され、所定の保管場所に集約される。

40

【0006】

また、上述の小切手の電磁的読み取り作業を、窓口で行おうとする試みも始めている。このために、窓口で設置できる小型の処理装置（例えば、特許文献 1 に記載）が提案されている。この処理装置は、小切手の搬送機構を有し、その搬送路上に、MICR（Magnetic Ink Character Reader）、スキャナ、及び印刷装置が備えられている。

【0007】

顧客から小切手を受け取った銀行員は、小切手をこの処理装置に通すと、この処理装置が MICR やスキャナで読み取りを行い、印刷装置で小切手に裏書を行う。

【0008】

50

【特許文献1】特開2000-344428号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0009】

この処理装置では、挿入された小切手のデータを、MICR、スキャナ等の検出器で読み込み、その後、連続的に小切手の裏書を行う。従って、これらの検出機器による読み込みのエラーが発生しても、そのまま小切手の裏書が行われてしまう。従って、この裏書は無効となり、再びこの処理装置にかける必要があり、1つの小切手に、複数の裏書がされることになる。

【0010】

10

また、処理装置を通した後、窓口の銀行員が小切手自体、又は、スキャナで読み取った画像を使って、小切手に記載された日付や署名の照合と所定のチェック作業を行うが、もしこのチェックで問題が発見された場合には、同様に、裏書は無効になる。従って、所定の修正作業を終えた後、再びこの処理装置にかけるか、又は、別途の印刷装置で再度裏書をする必要がある。

【0011】

この問題を解決するためには、MICRとスキャナで読み込みを行った後、裏書をする前に、一度小切手の搬送を止める必要がある。そして、この検出器による読み込みの結果や、スキャナで読み取った画像を銀行員がチェックした結果が判明した後、その結果に応じて、再び小切手の搬送を開始して裏書を行う必要がある。

20

【0012】

これを、一台の装置で行おうとする場合には、小切手の搬送を停止させたところから、小切手の搬送を再開し定常速度に達した位置以降に、印刷ヘッドを配置する必要がある。従って、搬送路の長さを延長させる必要があり、銀行窓口の非常に限られたスペースを考えると、実現するのは非常に困難である。

【0013】

また、もし、このチェックの結果、問題がないと判断された場合には、支払いや入金処理手続きを行うが、上述の処理装置以外の新たな装置を使用する必要がある。つまり、別途設置されたコンピュータの端末にインプットを行い、上記の処理装置とは別の印刷装置を使って、顧客に渡すレシートを発行したり、支店の控えの帳票を作成したりする必要がある。

30

【0014】

以上をまとめると、従来の処理装置では、MICRやスキャナでの読み込みエラーやその他の不具合が発生しても、そのまま小切手の裏書がなされてしまう。その場合には、この裏書は無効にして、再度、処理装置で処理をしたり、他の装置で処理をしたりする必要がある。従って、ひとつの小切手に複数の裏書がなされるので、誤認の恐れも高まり信頼性も低下する。また、再度、重複した作業を行わざるを得ないので、作業効率も低下する。

【0015】

また、小切手を処理装置に通して処理するほかに、必ず、別の装置へのインプット作業を行い、別の印刷装置を使用してレシート等を印刷する必要があるので、取り扱いミスも発生し易くなり、迅速な処理ができない。

40

【0016】

また、この処理装置以外に、別の印刷装置も設置が必要なため、限られた窓口の作業スペースを圧迫し、処理業務の効率を悪化させることにもなる。このようなことは、限られた窓口スペースで、正確かつ迅速に処理を行わなければならない銀行にとって大きな問題である。また、銀行に限らず、小切手、その他の帳票を限られたスペースで処理する業務においては、共通する問題である。

【0017】

従って、この発明の目的は、上述した従来の問題点を解決して、印刷媒体のデータを検出器で読み取った結果や、その他のチェックの結果をフィードバックして、印刷が可能な

50

印刷装置を提供することにある。また、小切手等の帳票の処理、印刷だけでなく、その後のレシート等の印刷までを一台で行えるコンパクトな印刷装置及び印刷方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0018】

本発明の目的は、以下の構成によって達成される。

(1) 単票紙を搬送する第1搬送路と、前記第1搬送路に概略直交するように配置され、単票紙を搬送する第3搬送路と、前記第1搬送路と前記第3搬送路が交差する印刷領域に設置され、各々の搬送路から搬送されてきた単票紙に印刷を行う印刷ヘッドと、当該印刷ヘッドを搭載し、前記第1搬送路の搬送方向と平行に前記印刷ヘッドを移動させて、前記単票紙を前記第3搬送路の搬送方向に搬送させることで、前記第1搬送路の搬送方向と平行な複数の行を印刷するキャリッジと、前記単票紙に予め印刷された磁気インクの情報を読み取る磁気インク文字読み取り装置と、前記単票紙の画像を読み取るスキャナと、を備え、前記磁気インク文字読み取り装置及び前記スキャナによる前記単票紙の読み取りの結果に応じて、前記単票紙の搬送を停止させて印刷を行い、前記単票紙の前記読み取りの結果に応じて、前記第1搬送路の排出方向へ排出するか、前記第3搬送路の排出方向へ排出するか選択可能であることを特徴とする印刷装置。

10

(2) 前記第1搬送路は、略U字形状を有している(1)記載の印刷装置。

(3) 前記第1搬送路に概略直交し、ロール紙を搬送する第2搬送路を備え、前記印刷ヘッドは、前記第2搬送路を搬送される前記ロール紙に印刷を行なう(1)-(2)のいずれかに記載の印刷装置。

20

(4) 第1搬送路に沿って単票紙を搬送するステップと、前記第1搬送路上を搬送される前記単票紙に予め印刷された磁気インク文字を読み取るステップと、前記第1搬送路上を搬送される前記単票紙の画像をスキャナで読み取るステップと、前記磁気インク文字及び前記スキャナによる読み取り結果に応じて、前記単票紙の搬送を停止させ、前記単票紙の第1搬送路の搬送方向と平行に前記印刷ヘッドを移動させて印刷を行うステップと、を備え、前記単票紙を搬送するステップは、前記単票紙の前記読み取りの結果に応じて、前記第1搬送路の排出方向へ排出するか、前記第3搬送路の排出方向へ排出するか選択するステップであることを特徴とする印刷方法。

30

【発明の効果】

【0019】

本発明の印刷装置は、印刷媒体の搬送方向と平行に印刷ヘッドを移動させることによって、印刷媒体の搬送を止めて印刷をすることができる。従って、従来の処理設備と同じ長さの搬送路で、従来の装置では不可能であった、印刷媒体のデータの読み取り結果をフィードバックさせた印刷を行うことが可能となる。本発明の印刷装置を、例えば、銀行の窓口の小切手処理に適用すれば、無効な裏書を防止でき、また、むだな重複作業を防止して業務の効率化を図ることができる。

【0020】

更に、上記の搬送路と直交する第2の搬送路を備えることで、上記の印刷媒体のデータの読み取り結果をフィードバックさせて、レシート等の第2の印刷媒体を印刷することができる。従って、従来、発生していたインプットミスや印刷媒体のハンドリングミスのような、異なる装置を取り扱うために生じるミスを防止することができる。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0021】

次に、図面を参照しながら、本発明に係る印刷装置の実施の形態を詳細に説明する。

【0022】

以下、本発明に係る印刷装置の実施形態を説明する。

【0023】

図1は本実施形態の印刷装置(小切手処理装置)の筐体を取り除いた全体斜視図であり

50

、図 2 は本実施形態の第 1 搬送路、第 2 搬送路、第 3 搬送路の関係を示す概略図であり、図 3 は印刷装置から一部部材を省略した平面図であり、図 4 は第 1 搬送路を示す模式図であり、図 5 は第 2 搬送路及び第 3 搬送路を示す立面図である。

【 0 0 2 4 】

本実施形態の印刷装置 1 では、図 2 (a) または図 2 (b) に示すように、概略 U 字型の形状を有しかつ単票紙 S を水平方向に平行に搬送する第 1 搬送路 P 1 と、第 1 搬送路 P 1 と概略直交しかつ単票紙 S またはロール紙 P を垂直方向に搬送する第 2 搬送路 P 2 及び第 3 搬送路 P 3 を有している。印刷装置 1 は、例えば、銀行の顧客と対応する窓口に設置され、顧客から受け取る単票紙 S である小切手を処理し、ロール紙 P を用いてレシートを発行可能な小切手処理装置である。

10

【 0 0 2 5 】

(第 1 搬送路)

まず、第 1 搬送路 P 1 について説明する。図 1 において、第 1 搬送路 P 1 は、外側ガイド 2 a 及び内側ガイド 2 b によって挟まれた搬送路 2 c で構成されており、直線部分 3 5 a , 3 5 b と、両端が直線部分 3 5 a , 3 5 b に接続された U 字底部分 3 4 からなる全体 U 字型の形状を有している。この第 1 搬送路 P 1 は、矢印 A の方向に単票紙 S を直線部分 3 5 a に沿って搬送し、そして単票紙 S を U 字底部分 3 4 を介して挿入時とは 1 8 0 度向きを変えた後、直線部分 3 5 b を介して単票紙 S を矢印 B の方向に排出する水平搬送路である。

【 0 0 2 6 】

直線部分 3 5 a には、給紙部 3 が設けられている。この給紙部 3 は、第 1 搬送路 P 1 を搬送されるべき単票紙 S を収納する部位である。この給紙部 3 は、複数の単票紙 S を自動的に 1 枚ずつ第 1 搬送路 P 1 に供給するオートフィーダ機構を有するように構成してもよい。なお、印刷装置 1 では、単票紙 S が小切手である場合には、原則として裏面が内側ガイド 2 b 側に向けて配置される。

20

【 0 0 2 7 】

第 1 搬送路 P 1 には、第 1 搬送ローラ 6、第 2 搬送ローラ 7 及び排出口ローラ 8 が単票紙 S を搬送する第 1 の搬送装置として設けられている。第 1 搬送ローラ 6、第 2 搬送ローラ 7 及び排出口ローラ 8 は、それぞれ駆動ローラ 6 a , 7 a , 8 a とこの駆動ローラ 6 a , 7 a , 8 a に対して単票紙 S を押し付ける押付ローラ 6 b , 7 b , 8 b を有している。図 3 に示す例では、駆動ローラ 6 a , 7 a , 8 a と同軸上にはプーリ 6 c , 7 c , 8 c が設けられており、プーリ 6 c , 7 c , 8 c 間及び水平方向用紙搬送モータ (Horizontal Paper Feed Motor) 4 0 (以降 H F モータと呼ぶ) に設けられたプーリ (不図示) 間にはベルト 4 1 が張架されている。これにより、駆動ローラ 6 a , 7 a , 8 a は、1 つの H F モータ 4 0 によって駆動される。なお、図 3 に示すように、排出口ローラ 8 の押付ローラ 8 b は、回転アーム 8 d の先端に取り付けられている。そして、アクチュエータ 4 5 を駆動することにより、回転アーム 8 d が回転し、押付ローラ 8 b が、駆動ローラ 8 a と接触する閉ポジション (搬送位置) と、駆動ローラ 8 a から離れた開ポジション (退避位置) を取ることができるようになっている。

30

【 0 0 2 8 】

ここで、第 1 搬送ローラ 6 及び第 2 搬送ローラ 7 は、単票紙 S の先端が第 2 搬送ローラ 7 へ達したときには、単票紙 S の後端が第 1 搬送ローラ 6 よりも手前 (上流側、すなわち給紙部 3 側) に位置する (第 1 搬送ローラ 6 による送り代が残っている) ような間隔で配置されている。更に同様に、第 2 搬送ローラ 7 及び排出口ローラ 8 は、単票紙 S の先端が排出口ローラ 8 へ達したときには、単票紙 S の後端が第 2 搬送ローラ 7 よりも手前 (上流側、すなわち給紙部 3 側) に位置する (第 2 搬送ローラ 7 による送り代が残っている) ような間隔で配置されている。

40

【 0 0 2 9 】

第 1 搬送ローラ 6 の上流側には B O F (Bottom of Form) 検出器 9 が、そして第 1 搬送ローラ 6 の下流側には T O F (Top of Form) 検出器 1 0 がそれぞれ設けられている。これら

50

の検出器 9, 10 は、第 1 搬送路 P 1 の底部近傍に設けられ、H F モータ 40 を動作することにより搬送される単票紙 S の先端及び後端を検知する。この B O F 検出器 9 の検出に応じて H F モータ 40 が駆動され、第 1 搬送ローラ 6、第 2 搬送ローラ 7 及び排出口ローラ 8 が、回転を開始する。また、図 3 で示した例を変更して（例えば複数のモータを用いたり、駆動ローラ 6 a, 7 a, 8 a にクラッチを配置したりして）個々のローラ 6, 7, 8 を独立に回転させるように構成してもよい。

【0030】

T O F 検出器 10 と第 2 搬送ローラ 7 との間の U 字底部分 34 には、上流側から順にスキャナ 11, 12 及び M I C R 13 が配置されている。

【0031】

スキャナ 11, 12 は、それぞれ単票紙 S の画像を読み取る画像読取センサである。スキャナ 11 は単票紙 S の裏面画像を読取可能なように第 1 搬送路 P 1 の外側ガイド 2 a 側に設けられ、一方スキャナ 12 は、単票紙 S の表面画像を読取可能なように第 1 搬送路 P 1 の内側ガイド 2 b 側に設けられている。これらのスキャナ 11, 12 は、第 1 搬送路 P 1 を介した対向面側に配置された押し付け部材（ローラ）11 a, 12 a によって単票紙 S をスキャナ 11, 12 に押し付けた状態で画像を読み取る。

【0032】

M I C R 13 は、単票紙 S の表面に印刷された磁気インク文字を読み取る磁気読み取りセンサであり、単票紙 S の表面に対向可能なように第 1 搬送路 P 1 の内側ガイド 2 b 側に設けられている。M I C R 13 は、第 1 搬送路 P 1 を介した対向面側に配置された押し付け部材（パッド）13 a によって単票紙 S を M I C R 13 に押し付けた状態で磁気インク文字を読み取る。

【0033】

第 2 搬送ローラ 7 と排出口ローラ 8 との間の直線部分 35 b には、印刷ヘッド 14 が第 1 搬送路 P 1 に向けられて配置されている。この印刷ヘッド 14 は、ガイド軸 15 a を介して移動可能に構成されたキャリッジ 15 に載置されており、キャリッジ 15 を介して印刷領域 18 と退避位置 19 との間を移動することができる。この印刷ヘッド 14 は、印刷領域 18 にいる状態で、ロール紙収納部 20 をカバーする開閉蓋 25 に取り付けられたプラテン 24 と対向配置されており（図 5 参照）、この状態で単票紙 S の裏面に印刷可能である。印刷ヘッド 14 には、インクタンク 17 からインクが補給されるように構成されており、印刷ヘッド 14 は、インクの直接交換をすることなく長時間印刷が可能である。

【0034】

また、この印刷ヘッド 14 は、水平方向に移動する単票紙 S と、後述する垂直方向へ移動するロール紙 P または単票紙 S の双方に印刷を行うことが可能である。なお、印刷ヘッド 14 は複数のノズルを有し、キャリッジ 15 を移動させずに水平方向に移動する単票紙 S に、少なくとも 1 行分以上の文字が印刷可能である。

【0035】

印刷ヘッド 14 の下流側には、排出口ローラ 8 によって構成される排出部 4 が設けられている。この排出部 4 は、印刷が終了した単票紙 S を排出口ローラ 8 を介して印刷装置 1 外部へ排出する。また、排出口ローラ 8 の近傍には、排出検出器 28 が設けられており、印刷が終了した単票紙 S が排出されたかどうか確認することが可能である。なお、この排出検出器 28 は、後述する第 3 搬送路 P 3 に沿って搬送・印刷された単票紙 S の排出の検出を兼ねており、図 6 に示すように、第 1 の搬送路 P 1、第 3 の搬送路 P 3 の双方にとって、印刷領域 18 よりも下流側に配置されている。

【0036】

なお、本実施形態では、スキャナ 11, 12 及び M I C R 13 が設置されている U 字底部分 34 以外の場所では、外側ガイド 2 a と内側ガイド 2 b の高さは、搬送される単票紙 S の幅よりも低くなっており、紙詰まり等が発生した場合に、手で容易に取り出せるようになっている。

【0037】

10

20

30

40

50

次に、この第1搬送路P1における単票紙Sの搬送について説明する。単票紙Sは、使用者によって矢印Aの方向から、第1搬送路P1の直線部分35aに設けられた給紙部3にセットされる。単票紙Sは、この給紙部3から第1搬送路P1に沿って搬送されていく。

【0038】

使用者がによってセットされた単票紙Sの先端が、BOF検出器9に達すると、BOF検出器9は、単票紙Sの先端を検出する。そして、印刷装置1がホストコンピュータ（不図示）から単票紙Sの処理コマンドを受信していた場合、第1搬送ローラ6の駆動ローラ6aは、このBOF検出器9の検出に応じて回転を始める。そして、単票紙Sは、駆動ローラ6aと押付ローラ6bの間にスムーズに挟み込まれ、駆動ローラ6aの回転によってスリップすることなく第1搬送路P1に沿って、U字底部分34の外側ガイド2aの壁に沿って搬送される。

10

【0039】

第1搬送ローラ6によって搬送された単票紙Sの先端が、TOF (Top of Form) 検出器10に達すると、その先に設置されたスキャナ11、12とMICR13の電源が入る。本実施形態の印刷装置1は、ローラの駆動を含めて、必要なときだけ必要な部位に電力を供給するようになっており、無駄な電力の消費を防ぐように構成されている。

【0040】

さらに、単票紙Sが搬送されると、外側ガイド2a側に設置されたスキャナ11は、単票紙Sの裏面の画像を読み取り、そして内側ガイド2b側に設置されたスキャナ12は、単票紙Sの表面の画像を読み取る。更に、内側ガイド2b側に設置されたMICR13は、単票紙Sに予め記載された磁気インク文字の情報を読み取る。

20

【0041】

このスキャナ11、12により生成された画像データは、印刷装置1を制御するホストコンピュータへ転送されることも可能であるし、印刷装置1に設けられた演算処理装置で所定の処理を行うようにしてもよい。また、読み込んだ画像をディスプレイに表示して、小切手等の単票紙Sをチェックする作業の効率化を図るように構成してもよい。このディスプレイは、ホストコンピュータに設置されたものをを用いることもできるし、印刷装置1自体に設置することも可能である。

【0042】

これらの取り込んだデータは、印刷装置1内の処理装置又は接続されたホストコンピュータによりデータ処理される。そして、データ処理の結果に応じて第2の印刷媒体であるロール紙Pやバリデーション紙である別の単票紙Sへの印刷を行うように構成してもよい。

30

【0043】

単票紙Sは、TOF検出器10を通過した後に、その先端が第2搬送ローラ7に達すると、駆動ローラ7aと押付ローラ7bの間に挟まれて、駆動ローラ7aの回転によって直線部分35b側へ送り出される。

【0044】

そして、印刷ヘッド14と近接対向する印刷領域18を通過するとき、印刷ヘッド14は、この単票紙Sへの印刷を行う。印刷ヘッド14と単票紙Sの間には、外側ガイド2aがあるが、この印刷領域18では外側ガイド2aに開口が大きく開けられており、印刷ヘッド14と単票紙Sの間には、何ら障害物が無い状態になっている。

40

【0045】

本実施形態では、印刷ヘッド14は、印刷時には、印刷領域18中の予め定められた位置に固定されており、印刷媒体である単票紙Sが移動することによって所定の印刷が行われるようになっている。なお、印刷ヘッド14は、印刷に必要な場合には、キャリッジ15とともに退避位置19へ待避可能である。したがって、印刷を行わない場合には、印刷ヘッド14を退避させることにより、搬送される単票紙Sによって印刷ヘッド14が損傷したり、搬送される単票紙Sを汚したりする恐れがない。また、印刷ヘッド14が退避

50

することにより、単票紙 S 等が紙詰まりを起こす可能性も低くなる。

【 0 0 4 6 】

印刷ヘッド 1 4 で裏面側に印刷が行なわれた単票紙 S は、排出口ローラ 8 で矢印 B の方向へ排出され、駆動ローラ 8 a と押付ローラ 8 b の間に挟まれた状態で駆動ローラ 8 a が回転することによって、印刷装置 1 の外部へ送り出される。これで、単票紙 S に関する処理は終了する。以上が、第 1 搬送路に関する説明である。

【 0 0 4 7 】

(第 2 搬送路)

次に、図 2 (a)、図 5 及び図 6 を参照しながら、第 2 搬送路 P 2 について説明する。

【 0 0 4 8 】

図 5 は、図 4 の V - V 矢視断面図であり、図 6 は、図 5 の拡大図である。第 1 搬送路 P 1 の 2 つの直線部分 3 5 a , 3 5 b の間には、ロール紙 P を収納するロール紙収納部 2 0 が設けられている。ロール紙 P の一端は、このロール紙収納部 2 0 から第 2 搬送路 P 2 に引き出されて、第 2 搬送路 P 2 に沿って搬送される。

【 0 0 4 9 】

第 2 搬送路 P 2 は、図 2 (a)、図 5 または図 6 に示すように、このロール紙収納部 2 0 からロール紙 P を印刷領域 1 8 に向かって搬送して排出するロール紙搬送路であり、直線部分 3 5 a と 3 5 b との間に形成されている。この第 2 搬送路 P 2 は、第 1 搬送路 P 1 の直線部分 3 5 b の一部と重複しており、第 1 搬送路 P 1 と搬送方向がほぼ直交している垂直搬送路である。

【 0 0 5 0 】

第 2 搬送路 P 2 には、図 6 に示されるように、ロール紙 P を垂直方向に搬送する垂直駆動ローラ 2 2 と、垂直駆動ローラ 2 2 に対してロール紙 P を押し付ける垂直押付ローラ 2 3 と、印刷領域 1 8 に露出したロール紙 P に所定のテンションを加えるテンションローラ 3 0 とを備えた第 2 の搬送装置が設けられている。

【 0 0 5 1 】

これらの垂直駆動ローラ 2 2 は、図 5 に示すようにロール紙収納部 2 0 を開閉する開閉蓋 2 5 の先端部分に取り付けられている。

【 0 0 5 2 】

垂直駆動ローラ 2 2 及び垂直押付ローラ 2 3 とテンションローラ 3 0 との間には、プラテン 2 4 と印刷領域 1 8 に配置された印刷ヘッド 1 4 とが第 2 搬送路 P 2 の両側に位置するように配置される。また、垂直駆動ローラ 2 2 及び垂直押付ローラ 2 3 の上方には、ロール紙 P を排出するロール紙排出口 3 6 が開口しており、このロール紙排出口 3 6 近傍にはロール紙 P を切断するカッタ 2 6 が配置されている。

【 0 0 5 3 】

次に、ロール紙搬送路である第 2 搬送路 P 2 におけるロール紙 P の搬送について説明する。ロール紙収納部 2 0 から引き出されたロール紙 P の一端は、テンションローラ 3 0 及びプラテン 2 4 を通り、垂直駆動ローラ 2 2 と垂直押付ローラ 2 3 に挟み込まれるように予めセットされる。このロール紙 P は、テンションローラ 3 0、垂直駆動ローラ 2 2 及び垂直押付ローラ 2 3 の回転によって、第 2 搬送路 P 2 を上方に向かって搬送される。そして、印刷ヘッド 1 4 と近接対向する印刷領域 1 8 を通過するとき、印刷ヘッド 1 4 を介してロール紙 P に対する印刷が行なわれる。

【 0 0 5 4 】

ここで、ロール紙 P への印刷は、印刷ヘッド 1 4 がキャリッジ 1 5 を介して水平方向に移動しながら 1 行印刷を行い、複数行印刷する必要がある場合には、一行印刷の終了後、垂直駆動ローラ 2 2 を回転させて、ロール紙 P を一行分上方に紙送りした後に再度印刷ヘッド 1 4 を水平方向に移動させて 2 行目以降の印刷を行う。なお、テンションローラ 3 0 と垂直駆動ローラ 2 2 及び垂直押付ローラ 2 3 との間には所定のテンションがかけられており、ロール紙 P はたるむことなく印刷位置を搬送される。

【 0 0 5 5 】

10

20

30

40

50

そして、ロール紙 P は更に上方へ搬送され、ロール紙排出口 36 から印刷装置 1 外部へ排出される。また、ロール紙排出口 36 近傍に配置されたカッタ 26 により、排出されたロール紙 P を切断することができるようになっている。

【0056】

このロール紙 P へは、ホストコンピュータから受信した印刷データが印刷される。また、ホストから受信した印刷データ以外にも、スキャナ 11, 12 及び MICR 13 によって読み込んだデータ自体、又はそれを加工したデータの印刷を行うことができる。すなわち、印刷装置 1 は、印刷装置 1 自身が取得したデータを基にロール紙 P への印刷が可能である。したがって、一連の処理作業を迅速に行うことができる。

【0057】

また、第 1 搬送路 P1、後述する第 3 搬送路 P3 で単票紙 S に印刷を行なわれているときは、ロール紙と印刷ヘッド 14 の間には単票紙 S が存在することが排出検出器 28、又は後述するバリデーション検出器 27 によって確認されているので、単票紙 S に印刷されるべき印刷データがロール紙 P に印刷される恐れはない。そして、ロール紙 P への印刷への必要な場合には、この単票紙 S が通過又は、取り除かれたこと検出された後、すぐにロール紙 P への印刷を行うことができるので、作業効率を上げることができる。

【0058】

(第 3 搬送路)

次に、図 2 (b) 及び図 6 を参照しながら、第 3 搬送路 P3 について説明する。

【0059】

第 3 搬送路 P3 は、印刷領域 18 に配置される印刷ヘッド 14 に対応して設けられ、印刷領域 18 付近の外側ガイド 2a と内側ガイド 2b との間に形成される上部開口 37 から外側ガイド 2a と内側ガイド 2b の間に挿入されたバリデーション紙である単票紙 S を搬送する搬送路である。第 3 搬送路 P3 は、第 2 搬送路と一部搬送路が重複しており、第 2 搬送路 P2 と同様に、第 1 搬送路 P1 と搬送方向がほぼ直交している。すなわち、第 3 搬送路 P3 は、第 2 搬送路 P2 とともに第 1 搬送路 P1 と直交する垂直搬送路である。

【0060】

この第 3 搬送路 P3 には、第 3 搬送路 P3 の両側に対向配置されたバリデーション駆動ローラ 31a とバリデーション押付ローラ 31b を備えている。バリデーション駆動ローラ 31a は、プラテン 24 及びテンションローラ 30 の下方に配置されており、第 3 搬送路 P3 に沿って単票紙 S を上下に搬送可能である。このローラ 31a、31b の対を垂直排出口ローラ 31 と呼ぶこともある。) なお、バリデーション駆動ローラ 31a と、ロール紙 P を搬送する垂直駆動ローラ 22 と、不図示の単一の垂直方向用紙搬送モータ (Vertical Paper Feed Motor、以降単に、VF モータと呼ぶ) により選択的に駆動される。即ち、バリデーション駆動ローラ 31a、垂直駆動ローラ 22 は、不図示のクラッチによって VF モータに選択的に接続される。本実施形態では、キャリッジ 15 を予め決められた位置に移動することにより、VF モータの動力をバリデーション駆動ローラ 31a、垂直駆動ローラ 22 のいずれに伝達するか決められる。

【0061】

また、バリデーション押付ローラ 31b は、図 6 に示すように、回転アーム 31c の先端に取り付けられている。そして、アクチュエータ (不図示) を駆動することにより、回転アーム 31c が回転し、バリデーション押付ローラ 31b が、バリデーション駆動ローラ 31a と接触する閉ポジション (搬送位置) と、駆動ローラ 31a から離れた開ポジション (退避位置) を取ることができるようになっている。単票紙 S が第 1 搬送路 P1 に沿って搬送される場合や、上方から単票紙 S が挿入される時には、バリデーション押付ローラ 31b は退避位置に保持された状態になっている。

【0062】

また、第 3 搬送路 P3 の底部近傍には、単票紙 S が第 3 搬送路 P3 に挿入されたことを検知するバリデーション検出器 27 が設置されている。図 3 に示すように、第 1 搬送路 P1 の直線部分 35b と、U 字底部分 34 の接続部分には、バリデーション紙である単票紙

10

20

30

40

50

Sを第3搬送路P3に挿入する時の位置決めガイド29が設けられている。バリデーション検出器27は、単票紙Sが予め決められた位置に単票紙Sがセットされたかどうかを確認するために設けられている。即ち、バリデーション検出器27によって、単票紙Sが位置決めガイド29に沿って、第3搬送路P3の底部までセットされたことが検出される。また、単票紙Sが第3搬送路P3に挿入されたとき、同時に排出検出器28によっても、単票紙Sが検知される。このように、印刷領域18を挟んで配置された2つの検出器27、28を用いることで、予め定められたサイズ以上の用紙が挿入されたことができ、許容されていないサイズ以下の単票紙Sを誤って印刷処理することを防止できる。

【0063】

次に、第3搬送路P3を介して、帳票等の単票紙Sにバリデーション印刷を行う場合の例を示す。このバリデーション搬送路である第3搬送路P3には、上部開口37から、単票紙Sが挿入される。単票紙Sは、バリデーション駆動ローラ31a、バリデーション押付ローラ31bと干渉することなく、第3搬送路P3の底部まで挿入される。また、このとき、排出ローラ8の押付ローラ8bも、退避位置に保持された状態になっており、単票紙Sは、排出ローラ8と干渉することなく、第3搬送路P3の底部まで挿入される。

【0064】

印刷装置1がホストコンピュータから、バリデーション印刷を指示するコマンドを受信した状態で、単票紙Sが第3搬送路P3の底部まで挿入されたことがバリデーション検出器27により検知されると、バリデーション押付ローラ31bは、退避位置から搬送位置へ移動して、バリデーション駆動ローラ31aとの間に単票紙Sを挟む。なお同時に、排出検出器28によっても、単票紙Sの有無の検出が行われる。バリデーション検出器27及び排出検出器28の双方によって、単票紙Sが検出されたときのみ、バリデーション押付ローラ31bを、退避位置から搬送位置へ移動させ、一方のみによって単票紙Sが検出されたときは、不図示のLEDによりエラー表示を行い、単票紙Sが所定位置にセットされていないことを使用者に報知する。

【0065】

そして、図7に示すように、キャリッジ15を水平方向に移動させて、印刷ヘッド14により、バリデーション押付ローラ31b、バリデーション駆動ローラ31aとの間に挟まれた単票紙Sに印刷を行う。これにより、単票紙Sの下端から予め定められた位置（第3搬送路P3の底部から印刷領域18までの距離）に1行分の印刷が行われる。更に印刷を行う場合は、バリデーション駆動ローラ31aを回転させて、単票紙Sを上方へ1行分搬送し、再度キャリッジ15を水平方向に移動させて、印刷ヘッド14により2行目の印刷を行う。

【0066】

そして、印刷の終了後、更に、単票紙Sは、上方へ搬送されていき、単票紙Sは、バリデーション押付ローラ31b、バリデーション駆動ローラ31aから外れ、使用者が、上部開口37から露出した単票紙Sを取り出すことが可能となる。使用者によって、単票紙Sが取り出されたことは、排出検出器28の出力によって確認される。以上によって、一連の単票紙Sへの印刷（バリデーション印刷）が終了する。

【0067】

以上のように、本実施形態の印刷装置1には、挿入した単票紙SがUターンして戻ってくるU字型の第1搬送路P1を有するため、作業者は座ったまま、容易に単票紙Sを挿入し、搬送路上で所定の処理が行われた後、容易に単票紙Sを取り出すことができる。また、第1搬送路P1と直交する第2搬送路P2を有するため、レシート等に使うロール紙をU字型搬送路の間に設置することが可能であり、作業者は、座ったまま容易にレシート等を取り出すことができる。また、必要に応じて、第3搬送路P3にバリデーション用の別の単票紙S（バリデーション紙）を挿入し、座ったままバリデーション印刷を行うこともできる。従って、従来に比べて、大幅に作業効率が改善される。

【0068】

本実施形態によれば、例えば、第1搬送路P1で処理を行った小切手に、更に裏書を行

10

20

30

40

50

う必要が出た場合には、他の印刷装置を使わずに、作業者は座ったまますばやく作業をすることができる。また、既に読み込んである小切手のデータを、この印刷にフィードバックすることができる。

【 0 0 6 9 】

以上まとめると、本実施形態の印刷装置 1 は、U 字型の形状を有する第 1 搬送路 P 1 と、第 1 搬送路 P 1 上の第 1 の印刷媒体である単票紙 S を搬送し排出する第 1 の搬送装置と、第 1 搬送路 P 1 と概略垂直に交わる第 2 搬送路 P 2 または第 3 搬送路 P 3 と、第 2 搬送路 P 2 上の第 2 の印刷媒体であるロール紙 P または第 3 搬送路 P 3 上の第 2 の印刷媒体である単票紙 S を搬送し排出する第 2 の搬送装置と、第 1 搬送路 P 1 上と第 2 搬送路 P 2 (または第 3 搬送路 P 3) 上の印刷位置において、第 1 の印刷媒体である単票紙 S と第 2 の印刷媒体であるロール紙 P または単票紙 S に印刷を行う 1 つの印刷ヘッド 1 4 と、を備えている。

10

【 0 0 7 0 】

また、本実施形態によれば、第 1 搬送路 P 1 は U 字型の形状をしているため、印刷装置 1 の第 1 搬送路 P 1 に挿入された第 1 の印刷媒体は、第 1 搬送路 P 1 に沿って U ターンしてくるので、印刷が行なわれて第 1 搬送路から排出されるときには、装入した位置の隣に排出させることが可能である。従って、この印刷装置 1 を操作する者は、座ったまま容易に印刷媒体の装入、取り出し作業を行うことができる。

【 0 0 7 1 】

また、第 2 搬送路 P 2 (または第 3 搬送路 P 3) は、第 1 搬送路 P 1 と概略直交しており、ここを搬送される第 2 の印刷媒体は、第 1 の印刷媒体と同じ印刷ヘッドで印刷される。従って、第 2 搬送路 P 2 (または第 3 搬送路 P 3) を、第 1 搬送路 P 1 の U 字型経路の中に収めることができるため、従来不可能であった、2 つの印刷機能を 1 台で行うことができる。

20

【 0 0 7 2 】

また本実施形態によれば、印刷ヘッド 1 4 は、印刷領域 1 8 と、印刷領域 1 8 から所定の距離だけ離れた退避位置 1 9 との間を往復移動させるキャリッジ 1 5 が備えられている。したがって、印刷を行う印刷ヘッド 1 4 は、印刷を行わないときには、退避位置 1 9 にいるため、印刷ヘッド 1 4 の損傷や汚れを防ぎ、印刷媒体と印刷ヘッド 1 4 の干渉による紙詰まりの危険性を回避することができる。

30

【 0 0 7 3 】

また、本実施形態によれば、印刷装置 1 は、第 1 搬送路 P 1 の少なくとも片側に配置され、第 1 の印刷媒体に記載された磁気インク情報を読み取る磁気インク文字読み取り装置である M I C R 1 3 が備えられている。したがって、本実施形態の印刷装置 1 は、印刷のみならず、U 字型の第 1 搬送路 P 1 上を第 1 の印刷媒体である単票紙 S (例えば小切手) が搬送される間に、この単票紙 S に記載された磁気インクの情報を、M I C R 1 3 で読み取ることができる。印刷装置 1 は、取得した磁気インクの情報 (データ) を、ホストコンピュータに伝送したり、印刷装置 1 内の図示せぬ制御部で処理をしたり、後に行なわれる印刷工程にフィードバックすることも可能である。

【 0 0 7 4 】

本実施形態の印刷装置 1 は、第 1 搬送路 P 1 に沿って設置され、単票紙 S の画像を読み取る画像読み取り装置 (スキャナ 1 1 , 1 2) を備えている。したがって、印刷装置 1 は、印刷や M I C R 1 3 による磁気文字読み取りだけでなく、第 1 搬送路の両側に設置されたスキャナ 1 1 , 1 2 で、単票紙 S の画像を取り込むことが可能なことである。このデータは、上述の M I C R 1 3 による読み込みデータと同様の処理も可能であるし、この画像をディスプレイの表示して、例えば小切手のチェック作業の効率化を図ることもできる。

40

【 0 0 7 5 】

また、本実施形態の印刷装置 1 において、印刷ヘッド 1 4 は、インクジェットプリンタである。印刷方式としては、様々な方式を採用することが可能であるが、第 1 搬送路 P 1 と第 2 搬送路 P 2 (または第 3 搬送路 P 3) の異なる搬送路上の印刷媒体を 1 つの印刷ヘ

50

ッド14で印刷することを考慮すれば、インクジェットプリンタは、最適な方式のひとつと考えられる。

【0076】

第1の印刷媒体としては、単票紙Sのような紙だけではなく様々なものが考えられるが、本実施態様のように、小切手に代表される単票紙Sは、複数の印刷装置を使用する場合、ばらばらになる恐れもあり、ハンドリングが煩雑になる。したがって、単票紙Sを印刷装置1で処理することによって、効率よい処理を行うことができる。

【0077】

また、本実施形態では、第3搬送路P3を使って、単票紙Sに印刷を行うことができる。例えば、小切手を上述の第1搬送路P1に流して、データ読み取りや裏書を行った後、再度裏書等を行う必要がある場合もある。本実施形態の印刷装置1は、そのような場合、別の印刷装置を使用することなく、読み取ったデータのフィードバックを受けながら必要な印刷を、第3搬送路P3に小切手を搬送させることにより実行することが可能である。したがって、従来に比べて、作業ミスの少ない効率の良い処理を行うことができる。

【0078】

また、本実施形態では、第3搬送路P3の排出側から装入された第2の印刷媒体としての単票紙Sを、第2の搬送装置で印刷位置へ搬送し、印刷位置において印刷ヘッド14で印刷を行い、第2の搬送装置で再び第3搬送路P3の排出側へ排出することが可能である。これにより、本実施形態の印刷装置1は、第3搬送路P3を使用して、バリデーション印刷を行うことができる。従来は、別の印刷装置によって、バリデーション印刷を行っていたが、印刷装置1では1台ですべてを行うことが可能であり、また、読み取ったデータをそのまま利用できる。従って、印刷媒体のハンドリングミス、データ入力ミス、作業の遅延等の問題を解決できる。

【0079】

また、印刷装置1は、第2の印刷媒体としてロール状に巻き取られた連続紙（ロール紙）を用いることが可能である。従来は、別の印刷装置で、レシート等を印刷しており、データ入力ミスや作業の遅延等の問題が発生していたが、本実施態様によれば、第2搬送路P2を介してロール紙Pを搬送し、このロール紙Pに印刷を行い出力することで1台の印刷装置1だけを用いて、処理を行うことが可能である。

【0080】

（単票紙印刷に関するモード）

本実施形態の印刷ヘッド14は、キャリッジ15に載置されており、第1搬送路P1の直線部分35bに沿って水平方向に印刷領域18に移動可能である。したがって、第1搬送路P1を搬送される単票紙Sへの印刷としては、単票紙Sを固定した状態で印刷ヘッド14を水平方向に移動させることにより印刷を行う単票紙固定モードと、印刷ヘッド14を固定した状態で単票紙Sを水平方向に移動させることにより印刷を行う印刷ヘッド固定モードの2つのモードが考えられる。

【0081】

印刷ヘッド固定モードの場合には、印刷ヘッド14の位置を固定し、この印刷ヘッド14の前方を通過する単票紙Sに対して、印刷ヘッド14からインクを吐出させて単票紙Sに対する印刷を行う。

【0082】

この印刷ヘッド14を固定して、単票紙Sを移動させながら印刷を行う印刷ヘッド固定モードにおいては、単票紙Sを一旦停止させる必要がない。したがって、印刷ヘッド固定モードでは、U字底部分34から搬送される単票紙Sの搬送スピードを落とすことなく印刷を行うことができる。すなわち、印刷ヘッド固定モードにおいては、単票紙Sの搬送スピードが低下しないため、高速な単票紙Sの処理を行うことが可能である。

【0083】

一方、単票紙固定モードの場合には、図8（b）に示すように、単票紙Sを印刷ヘッド14の前面にて一旦停止させ、キャリッジ15を介して印刷ヘッド14を単票紙Sの搬送

10

20

30

40

50

方向と平行に動かしながらインクを吐出させて、単票紙 S への印刷を行う。

【 0 0 8 4 】

この単票紙固定モードは、例えば、U字底部分 3 4 において読み取られた画像データまたは磁気インク文字データの読取結果に基づく印刷を行う場合に有効である。

【 0 0 8 5 】

図 8 (a) に示すように、印刷ヘッド固定モードにおいて、U字底部分 3 4 において読み取られた画像データまたは磁気インク文字データの読取結果に基づく印刷を行う場合、単票紙 S は、画像データまたは磁気インク文字データの読取結果が判明するまで、U字底部分 3 4 から排出された位置（より厳密には、M I C R 1 3 による磁気インクの読取が終了した位置）よりも下流側にて単票紙 S が一端停止させなければならない。この場合、印刷ヘッド 1 4 は、画像データまたは磁気インク文字データの読取結果が判明後に単票紙 S の搬送が再開されて単票紙 S が定常走行に入った位置以降に設置する必要がある。したがって、印刷ヘッド固定モードにおいて、画像データまたは磁気インク文字データの読取結果に基づく印刷を行おうとすると、画像データまたは磁気インク文字データの読取結果に基づく印刷を行わない場合と比べて、図 8 (a) に示す長さ L だけ直線部分 3 5 b の長さが長くなってしまふ。この直線部分 3 5 b の長さが L だけ長くなることは、非常にスペースの限られた銀行の窓口への印刷装置 1 の設置に関しては、大きな障害となってしまう、好ましくない。

【 0 0 8 6 】

一方、図 8 (b) に示すように単票紙固定モードでは、キャリッジ 1 5 を介して印刷ヘッド 1 4 を単票紙 S の搬送方向と平行に動かすことによって、単票紙 S を停止させたまま単票紙 S への印刷を行う。この場合には、単票紙 S の搬送を停止させない従来の搬送路と全く同じ長さで、上述の図 8 (a) と同じ機能を果たすることができる。

【 0 0 8 7 】

具体的には、単票紙 S の後端が、U字形状部分 3 4 を通過し終えて直線部分 3 5 b に入ったところで、単票紙 S の搬送が停止される。この単票紙 S の搬送は、例えば、印刷範囲の最先部（排出口ーラ 8 側）に設けられた排出検出器 2 8 による用紙検出をトリガーとし、単票紙 S の先端が排出検出器 2 8 に到達したときに搬送を停止させるようにしてもよい。また、その他、単票紙 S の後端側を検知する等、様々な方法を採用することができる。

【 0 0 8 8 】

以上のような単票紙固定モードの場合、スキャナ 1 1 , 1 2 または M I C R 1 3 による読み取りにおいて何らかのエラーが発生した場合には、印刷ヘッド 1 4 による印刷を行わずに、単票紙 S の搬送を再開させて単票紙 S を排出することができる。これによって、例えば、単票紙 S が小切手の場合には、従来の無効な裏書がなされてしまう問題を防止することができる。

【 0 0 8 9 】

また、単票紙固定モードの場合には、読み取ったデータの処理をした結果や、スキャナで読み取った画像をディスプレイへ映し出して目視チェックした結果等を、フィードバックして印刷することもできる。

【 0 0 9 0 】

なお上記説明では、単票紙 S 及び印刷ヘッド 1 4 の何れか一方を停止させて、他方を移動させることにより単票紙 S への印刷を行ったが、単票紙 S と印刷ヘッド 1 4 の両方を同時に移動させながら印刷を行うことも可能である。特に、単票紙 S を排出部 4 へ搬送しながら、印刷ヘッド 1 4 をそれと反対側へ移動させることにより、最も高速な印刷を行うことができる。これは、緊急処理等が必要な場合には、有効な手段である。

【 0 0 9 1 】

以上、本実施形態の印刷装置 1 では、印刷ヘッド 1 4 は固定されているか又は印刷媒体の搬送方向と平行な方向に移動させるかのモードを選択することができる。特に、印刷ヘッド 1 4 が印刷媒体の搬送方向と平行に移動する場合には、この印刷ヘッドの移動によって、従来実現できなかった様々な態様の印刷を行うことができる。

【 0 0 9 2 】

すなわち、本実施形態の印刷装置 1 は、印刷媒体を停止させて、キャリッジ 1 5 に搭載された印刷ヘッド 1 4 をこの印刷媒体の搬送方向と平行に移動させることで、印刷を行うことが可能である。従来の固定した印刷ヘッドを使用する場合には、一度、印刷媒体の搬送を止めて、その後に印刷を行うためには、印刷媒体が停止した位置から搬送を再開した先に印刷ヘッドを設置する必要がある、更に先の方まで搬送路を取る必要があった。しかし、本実施形態では、従来の搬送路を延長することなく、印刷媒体を止めて印刷が可能である。したがって、銀行の窓口等のような、設置スペースや作業スペースが限られている場合でも、スペースを無意味に占有することが無く、有効にスペースを活用することができる。

10

【 0 0 9 3 】

(単票紙排出の搬送方向の選択)

本実施形態において、第 1 搬送路 P 1 を搬送される単票紙 S は、スキャナ 1 1 , 1 2 、 M I C R 1 3 等の読取装置による読取結果に応じて、搬送方向を変化させるように構成することができる。

【 0 0 9 4 】

以下、検出器の読取結果に応じて、単票紙 S の搬送方向を変化させる実施形態について説明する。

【 0 0 9 5 】

この実施形態では、印刷装置 1 は、スキャナ 1 1 , 1 2 または M I C R 1 3 の読み取り結果に応じて、第 1 搬送路 P 1 の直線部分 3 5 b にて、それまでの搬送方向と同じ方向である矢印 B (図 1 参照) の方向へ単票紙 S を排出するか、それまでの排出方向と概略直交した上方の矢印 C (図 1 参照) の方向へ単票紙 S を排出するかを選択する。

20

【 0 0 9 6 】

ここで、矢印 B の方向へ排出する場合には、図 3 及び図 4 に示す排出口ーラ 8 からなる排出装置を備えた排出部 4 で構成される“第 1 の排出手段”によって行われる。また、矢印 C の方向へ排出する場合は、図 3 に示す垂直排出口ーラ 3 1 からなる排出装置と垂直搬送路 (第 3 搬送路 P 3 に相当) から構成される“第 2 の排出手段”によって行われる。

【 0 0 9 7 】

第 1 の排出手段によって排出される場合であっても、また第 2 の排出手段によって排出される場合であっても、単票紙 S が印刷領域 1 8 に配置された印刷ヘッド 1 4 と近接対向する時点で、単票紙 S への印刷を行うことができる。また、矢印 B の方向及び矢印 C の方向の何れか一方への排出を選択したときには印刷を行わないように設定することも可能である。本実施形態では、印刷時には印刷ヘッド 1 4 は固定されており、単票紙が移動することで印刷が行われる。勿論、印刷ヘッド 1 4 が移動しながら印刷を行うように構成してもよい。

30

【 0 0 9 8 】

本実施形態では、単票紙 S が給紙部 3 から搬送されて、単票紙 S の先端部が排出口ーラ 8 に挟み込まれ、第 2 搬送口ーラ 7 から排出口ーラ 8 へ受け渡しが行われる位置に達したときに、この排出口ーラ 8 の近傍に設置された排出検出器 2 8 によって用紙検出が行われる。そしてこの排出検出器 2 8 が出力した検出信号に応じて、単票紙 S の搬送を停止させたり、単票紙 S を排出する排出手段の選択を行ったりすることができる。

40

【 0 0 9 9 】

排出手段の選択に当たっては、スキャナ 1 1 , 1 2 又は M I C R 1 3 の読み取りエラーが発生したか否か、その他読み取りデータの不具合があるか否かに基づいて行われる。この判定は、印刷装置 1 に設置された演算器によって行われる。なお、外部に設置されたホストコンピュータによって判定が行われるように構成してもよい。

【 0 1 0 0 】

図 9 (a) ~ 図 9 (c) は、単票紙 S が給紙部 3 に供給されてから、排出手段の選択がなされるまでの動きを模式化して示す図である。

50

【 0 1 0 1 】

図 9 (a) は、単票紙 S が給紙部 3 へ供給されたところを示している。単票紙 S が 1 枚 1 枚挿入される場合には、B O F 検出器 9 の検出によって、また、オートフィーダでストックされた単票紙 S が供給される場合には、図示せぬ A S F 検出器の検出によって、第 1 搬送ローラ 6、第 2 搬送ローラ 7、排出口ローラ 8 等を駆動する H F モータ 4 0 を起動させる。

【 0 1 0 2 】

図 9 (b) は、第 1 搬送ローラ 6 によって単票紙 S が搬送され、単票紙 S の先端が T O F 検出器 1 0 の位置に達したところを示す。この T O F 検出器 1 0 による検出によって、スキャナ 1 1、1 2 や M I C R 1 3 の通電が開始される。また、以降の単票紙 S の位置は、モータ S t e p 数で管理することになる（他の実施形態でも同様）。

10

【 0 1 0 3 】

図 9 (c) は、単票紙 S が、第 2 搬送ローラ 7 から離れて、排出口ローラ 8 に挟み込まれたところを示す。この位置で、排出検出器 2 8 によって単票紙 S が検出され、排出方向の選択がなされる。

【 0 1 0 4 】

本実施形態では、スキャナ 1 1、1 2 または M I C R 1 3 の読み取りエラーや読み取りデータの不具合がないと判断された場合、単票紙 S は、それまでの搬送方向と同じ矢印 B の方向へ排出され、一方、スキャナ 1 1、1 2 または M I C R 1 3 の読み取りエラーや読み取りデータの不具合があると判定された場合には、それまでの搬送方向と概略直交した上方の矢印 C の方向へ排出される。

20

【 0 1 0 5 】

水平方向への排出は、駆動ローラ 8 a と押付ローラ 8 b からなる排出口ローラ 8 によって行われ、上方への排出は、図 3 に示すバリデーション駆動ローラ 3 1 a とバリデーション押付ローラ 3 1 b からなる垂直排出口ローラ 3 1 によって行われる。

【 0 1 0 6 】

前述したように、バリデーション押付ローラ 3 1 b がバリデーション駆動ローラ 3 1 a と接触する閉ポジション（搬送位置）と、バリデーション押付ローラ 3 1 b がバリデーション駆動ローラ 3 1 a と離れている開ポジション（退避位置）を取ることができる。ここで、バリデーション駆動ローラ 3 1 a は、単票紙 S が搬送される搬送ラインよりも、わずかにオフセットされて配置されており、開ポジションのときには単票紙 S と接触しないような位置に設置されている。また、排出口ローラ 8 の押付ローラ 8 b も、駆動ローラ 8 a と接触する閉ポジション（搬送位置）と、駆動ローラ 8 a から離れた開ポジション（退避位置）を取ることができるようになっている。

30

【 0 1 0 7 】

また、閉ポジションのときには、バリデーション押付ローラ 3 1 b はバネ力によって、バリデーション駆動ローラ 3 1 a 側に付勢されており、バリデーション駆動ローラ 3 1 a とバリデーション押付ローラ 3 1 b とで、単票紙 S を挟み込む形となる。本実施形態では、搬送ラインからオフセットはほんのわずかであり、単票紙 S の先端部の挟み込みや搬送には全く問題がないように構成されている。この排出方向の選択が行われるときの初期状態は、排出口ローラ 8 が閉ポジションになっており、垂直排出口ローラ 3 1 が開ポジションになっている。

40

【 0 1 0 8 】

もし、読み取りエラーや読み取りデータの不具合がないと判定された場合には、排出口ローラ 8 は閉ポジションを維持し、垂直排出口ローラ 3 1 は開ポジションを維持するように指示が出される。したがって、単票紙 S は、垂直排出口ローラ 3 1 とは接触せずに、排出口ローラ 8 によって搬送される。

【 0 1 0 9 】

単票紙 S が印刷領域 1 8 を通過するとき、印刷ヘッド 1 4 によって単票紙 S に印刷を行うこともできるし、印刷を行わずに単票紙 S をそのまま通過させることもできる。そし

50

て、単票紙 S は、そのまま搬送され、矢印 B の方向へ排出される。

【 0 1 1 0 】

一方、読み取りエラーや読み取りデータの不具合があると判定された場合には、まず、排出口ーラ 8 は閉ポジションから開ポジションを取るよう指示が出され、水平方向の搬送が停止する。そして、次に、垂直排出口ーラ 3 1 が、開ポジションから閉ポジションを取るよう指示されて、単票紙 S を挟み込む。この状態で、単票紙 S は排出口ーラ 8 とは接触せずに、垂直排出口ーラ 3 1 によって上方へ搬送され矢印 C の方向に排出される。

【 0 1 1 1 】

このとき単票紙 S は、印刷ヘッド 1 4 と近接対向する位置にあるときに、印刷ヘッド 1 4 によって印刷を行うことができる。なお、単票紙 S が上方へ移動することによって、従来の水平搬送路のみの場合には不可能であった、複数行を印刷することも可能となる。したがって、より多くの情報を単票紙 S に記載することができるようになる。

【 0 1 1 2 】

図 1 0 は、上述した単票紙 S が給紙部 3 へ供給されてから、所定の排出方向へ排出されるまでの制御フローを示すフローチャートである。フロー図の矢印でつながれた各ブロックは、主に搬送、排出口ーラの制御を示す。このブロックの横に記載されたブロック（互いに連結されていないブロック）は、各ステップで行われるその他のアクションを示している。

【 0 1 1 3 】

まず、印刷装置 1 がホストコンピュータから単票紙 S の処理コマンドを受信した後、単票紙 S が挿入されたら、B O F 検出器 9 が単票紙 S の存在を感知し、H F モータ 4 0 が起動する。そして、搬送装置によって単票紙 S が搬送され、T O F 検出器 1 0 が単票紙 S の存在を感知するとスキャナ 1 1 , 1 2 や M I C R 1 3 の電源が入れられる。この後からは、H F モータ 4 0 のステップ数の管理によって、単票紙 S の搬送位置を管理する（ステップ S 1 ~ S 5 ）。なお、ステップ S 2 とステップ S 3 の間で、所定ステップ（1 0 0 0 ステップ）モータを駆動しても、T O F 検出器で単票紙 S の先端が検出されない場合は、モータを停止し、不図示の L E D を用いて、「紙搬送エラー」を使用者に報知する。同様に、ステップ S 4 とステップ S 5 の間で、所定ステップ（2 4 0 0 ステップ）モータを駆動しても、T O F 検出器で単票紙 S の後端が検出されない場合は、H F モータ 4 0 を停止し、「紙搬送エラー」を使用者に報知する。また、単票紙 S の先端が検出される（ステップ S 2 ）の前後では、単票紙 S を搬送する速度が異なる。即ち、本実施形態では、ステップ S 2 では H F モータ 4 0 の駆動速度は 2 0 0 P P S （パルス / 秒）であり、ステップ S 4 では 1 1 0 0 P P S でモータを駆動している。

【 0 1 1 4 】

単票紙 S の後端が T O F 検出器 1 0 を通過したと感知した後に（ステップ S 5 ）、更に H F モータ 4 0 を所定ステップ（速度 1 1 0 0 P P S で、3 6 6 ステップ）駆動し（ステップ S 6 ）、排出口ーラ 8 を閉ポジションにする指令を出す（ステップ S 7 ）。そして、排出検出器 2 8 によって単票紙 S が検出されるまで単票紙 S の搬送が行われる。この間に、スキャナ 1 1 , 1 2 や M I C R 1 3 によって各種情報の取得が行われる。そして、排出検出器 2 8 で、単票紙 S の先端が排出検出器の位置に到達したことを検知（ステップ S 1 0 ）すると、排出方向の選択が行われる（ステップ S 1 1 ）。

【 0 1 1 5 】

もし、スキャナ 1 1 , 1 2 や M I C R 1 3 の読み取りエラーやデータの不具合がなければ、そのまま単票紙 S の搬送が続けられ矢印 B 方向に排出される。本実施形態では、排出検出器 2 8 が、単票紙 S の後端が通過したことを検知すると排出が完了したと判断されて、一連の処理が終了する（ステップ S 1 2 , S 1 3 ）。

【 0 1 1 6 】

また、もし、スキャナ 1 1 , 1 2 や M I C R 1 3 の読み取りエラーやデータの不具合がある場合には、まず、H F モータ 4 0 を所定量（3 9 ステップ）逆転し、単票紙を微量戻す（ステップ S 1 4 ）。その後、キャリッジ 1 5 を C R I ポジションに移動し、V F モ

10

20

30

40

50

ータの動力を、ロ - ル紙を搬送する垂直駆動ローラ 2 2 から、バリデーション駆動ローラ 3 1 a に伝達されるようにクラッチを切り換える (ステップ S 1 6)。その後、排出部のローラのポジションを垂直排出へ切り換える。つまり、排出口ローラ 8 は開ポジションとし、垂直排出口ローラ 3 1 は閉ポジションとする (ステップ S 1 7)。そして、単票紙 S を上方へ搬送しながら、印刷ヘッド 1 4 によって印刷を行う (ステップ S 1 8)。更に上方へ搬出する (ステップ S 1 9) と、単票紙 S は、バリデーション押付ローラ 3 1 b、バリデーション駆動ローラ 3 1 a から外れ、使用者が、上部開口 3 7 から露出した単票紙 S を取り出すことが可能となる。使用者によって、単票紙 S が取り出されたことは、排出検出器 2 8 の出力によって確認され (ステップ S 2 0)、これにより、V F モータの動力を、ロ - ル紙を搬送する垂直駆動ローラ 2 2 に伝達されるようにクラッチを切り換え、ローラポ

10

【 0 1 1 7 】

本実施形態によれば、例えば小切手を銀行の窓口で処理する場合、印刷装置 1 は U 字型の搬送路を有するので、銀行員は椅子に座ったまま、単票紙 S としての小切手の挿入と取り出しが容易に行える。そして、印刷装置 1 は、スキャナ 1 1, 1 2 または m i c r 1 3 の読み取りエラーや読み取りデータの不具合が発生した場合には、自動的に従来の水平の搬送方向と異なる上方へ小切手を排出するので、銀行員は、すぐに異常に気づき、迅速な対応をすることができる。また、特に、複数の小切手を連続的に処理する場合では、読取結果に応じて搬送方向を分けることにより、問題のある小切手が他の小切手と混ざることな

20

【 0 1 1 8 】

また、本実施形態の応用例として、下記のような形態も考えられる。

【 0 1 1 9 】

本応用例では、検出器の読み取りエラーや読み取りデータの不具合が発生したか否かにかかわらず、必ず、単票紙の先端が排出検出器 2 8 によって検出された位置近傍で、単票紙 S の搬送を止める。そして、搬送を止めている間に、読み取ったデータの処理を行ったり、スキャナで読み込まれた画像をディスプレイに映し出したりして、目視で日付や署名のチェック等を行う。

【 0 1 2 0 】

30

その結果、不具合があるときには、そのまま水平の " 第 1 の排出手段 " を使用して、印刷をせずに排出する。また、不具合がなかった場合には、垂直の " 第 2 の排出手段 " を使用し、印刷ヘッドで裏書を行ってから排出する。

【 0 1 2 1 】

以上の方法によって、小切手の読み取り結果をフィードバックして、裏書を行うことが可能となり、従来のような無効な裏書がなされ、結果として複数の裏書がなされる問題を防止することができる。

【 0 1 2 2 】

以上、本実施形態では、印刷媒体である単票紙 S の排出方向を、予め定められた条件にしたがって選択することができる。よって、印刷媒体を、事前に設定した条件に従って識別し、グループ分けを行うことができる。また、各々の排出口に別の搬送装置を設置すれば、ある条件に従って、異なる場所へ配送することも可能である。例えば、印刷媒体に識別標識が付けてあれば、それに従って、配送させることも容易に行うことができる。

40

【 0 1 2 3 】

また、本実施形態によれば、例えば、m i c r 1 3 やスキャナ 1 1, 1 2 での読み取りエラーが発生したり、読み取ったデータに不具合があったりした場合に、搬送方向のまま排出するか、それとも垂直方向に排出するか、条件に応じて、排出手段を選択して排出することに特長がある。従って、問題のある印刷媒体だけを異なる排出口へ排出させて、容易に識別できるようにすることができる。

【 0 1 2 4 】

50

特に、印刷媒体を連続的に流す場合には、同じ排出口へ排出すると、正常なものと問題のあるものが混在してしまい、後で、仕分けをすることは非常に困難である。従って、このような場合には、大きな効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【 0 1 2 5 】

【図 1】本発明に係る実施形態の印刷装置の筐体を取り除いた全体斜視図である。

【図 2】本発明に係る実施形態の印刷装置における第 1 搬送路、第 2 搬送路、第 3 搬送路の関係を示す概略図である。

【図 3】印刷装置から一部部材を省略した平面図である。

【図 4】第 1 搬送路を示す模式図である。

10

【図 5】第 2 搬送路及び第 3 搬送路を示す立面図である。

【図 6】図 5 の拡大断面図である。

【図 7】第 2 搬送路または第 3 搬送路における搬送の様子を示す図である。

【図 8】(a) は印刷ヘッドが固定の場合の第 1 搬送路を示す模式図であり、(b) は印刷ヘッドが可動の場合の第 1 搬送路を示す模式図である。

【図 9】(a) ~ (c) は、単票紙が給紙部に供給されてから、排出手段の選択がなされるまでの動きを模式化して示す図である。

【図 10】単票紙が給紙部へ供給されてから、所定の排出方向へ排出されるまでの制御フローを示すフローチャートである。

【符号の説明】

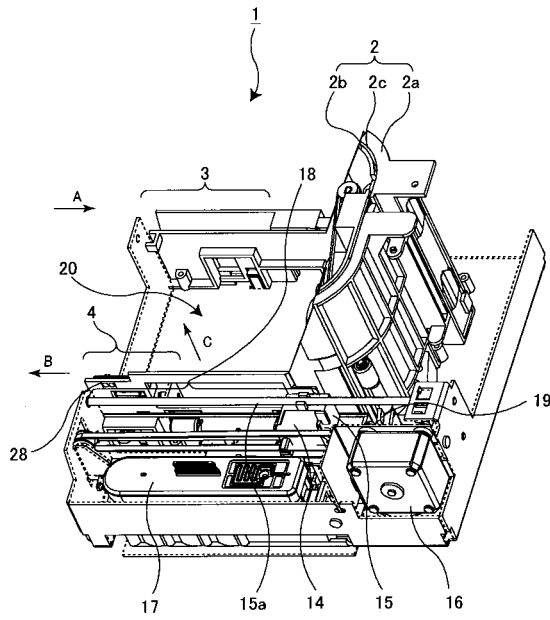
20

【 0 1 2 6 】

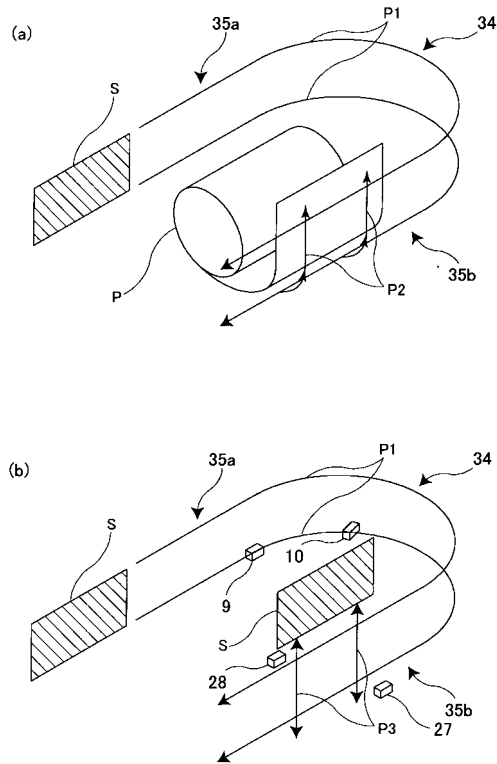
S	単票紙	P	口 - ル紙
P 1	第 1 搬送路	P 2	第 2 搬送路
P 3	第 3 搬送路	1	印刷装置
2 a	外側ガイド	2 b	内側ガイド
3	給紙部	4	排出部
6	第 1 搬送ローラ	7	第 2 搬送ローラ
8	排出ローラ	9	B O F 検出器
1 0	T O F 検出器	1 1	スキャナ (裏面)
1 2	スキャナ (表面)	1 3	M I C R
1 4	印刷ヘッド	1 5	キャリッジ
1 7	インクタンク	1 8	印刷領域
1 9	待避位置	2 0	ロール紙収納部
2 2	垂直駆動ローラ	2 3	垂直押付ローラ
2 4	プラテン	2 5	開閉蓋
2 6	カッタ	2 7	バリデーション検出器
2 8	排出検出器	2 9	位置決めガイド
3 0	テンションローラ	3 1	垂直排出ローラ
4 0	H F モータ	4 1	ベルト

30

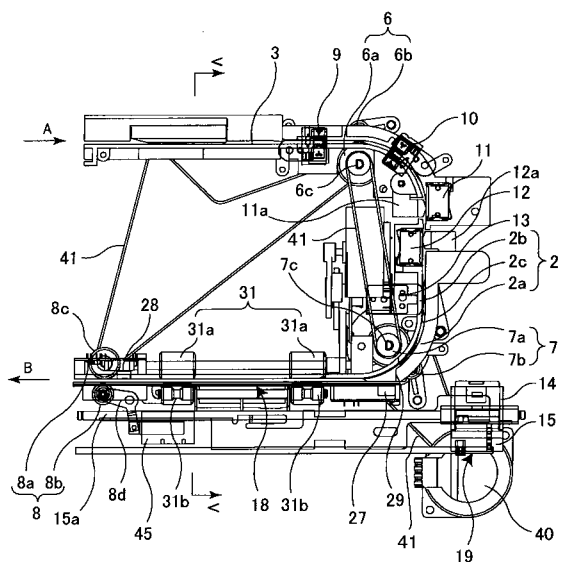
【図 1】



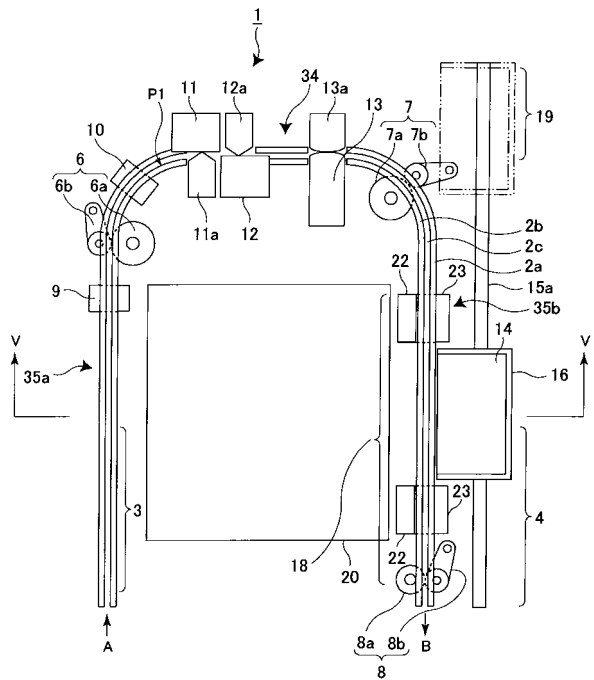
【図 2】



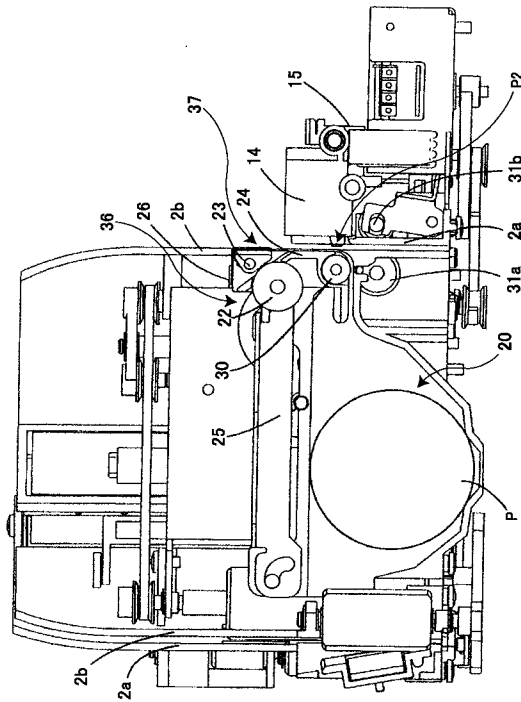
【図 3】



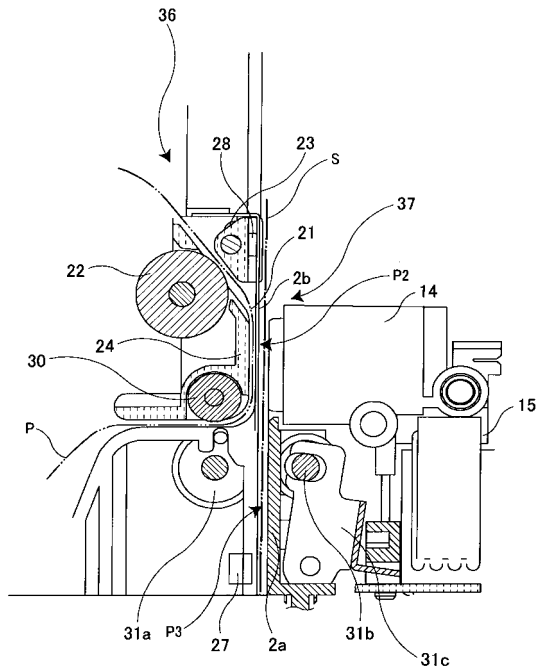
【図 4】



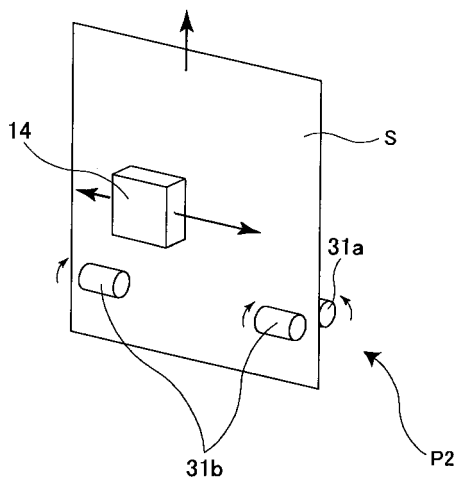
【図 5】



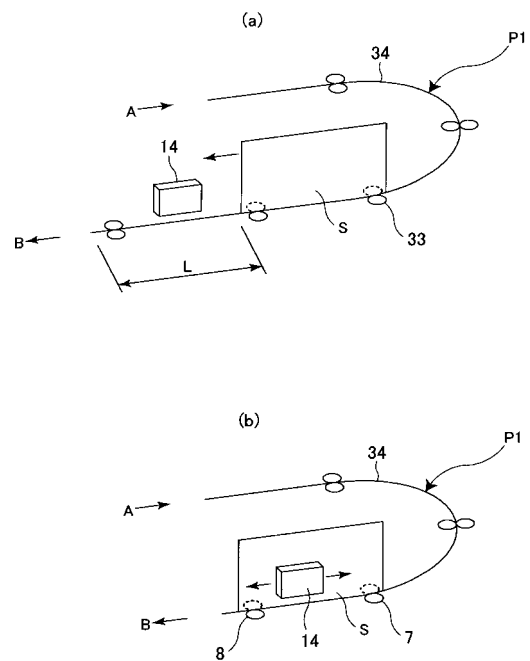
【図 6】



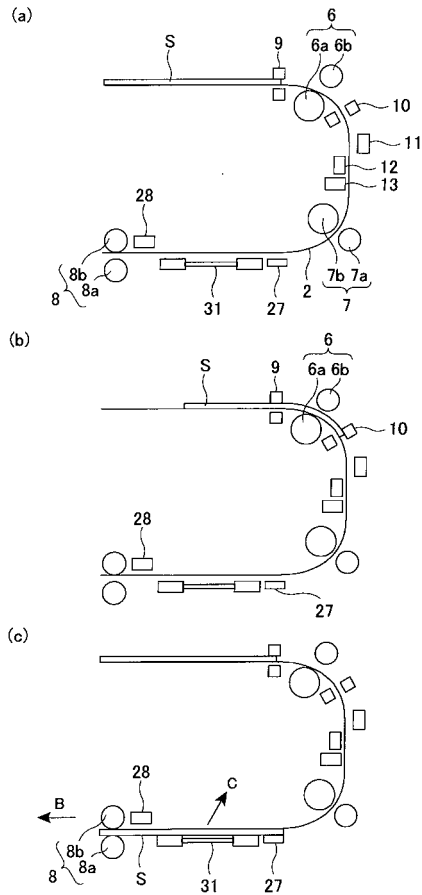
【図 7】



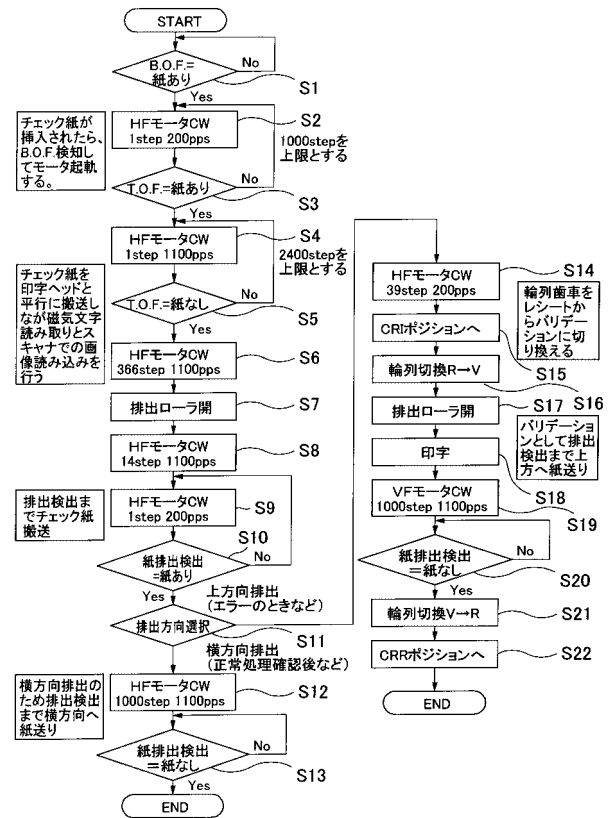
【図 8】



【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

審査官 立澤 正樹

- (56)参考文献 特開平 1 1 - 2 9 1 5 7 2 (J P , A)
特開平 0 5 - 2 0 1 0 9 5 (J P , A)
特開 2 0 0 2 - 2 5 5 3 9 3 (J P , A)
特開平 0 8 - 3 2 4 0 0 4 (J P , A)
特開 2 0 0 2 - 2 0 0 7 6 2 (J P , A)
特開 2 0 0 2 - 1 6 0 4 1 4 (J P , A)
特開 2 0 0 1 - 2 7 2 8 3 0 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

B 4 1 J	3 / 4 4
B 4 1 J	1 3 / 0 0
B 4 1 J	1 5 / 0 0
B 6 5 H	1 5 / 0 0